

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立野田特別支援学校
テーマ	障害者スポーツをととした地域との関わり
実施形態	・スポーツ大会（駅伝講習会） 東部小学校駅伝部との交流とセット ・その他（特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業）
実施主体	市と学校の共催
日時 会場	令和3年11月18日（木）10：00 ～ 11：50 県立野田特別支援学校グラウンド 12：00～12：30 開かれた学校づくり委員会（体育館）
参加者	開かれた学校づくり委員 11名 PTA 役員 3名 野田市役所職員 3名  計 17名
広報	・関係者への通知文
流れ・ 進行	・始まりの会（進行 生徒） ・試走会 ・走り方教室 ・トレーニング方法講習会 ・終わりの会（進行 生徒）
参加者の 意見	・生涯スポーツである「走る」は誰でもできる。走る楽しさを教えてもらったとても良い機会だった。 ・アスリートと接する機会は、とても貴重な経験である。 ・生徒の自信になった。 等
参観者の 感想	・中等部の生徒が、地域や学校とつながりのあるアスリートから直接指導を受ける機会はとても貴重である。生徒は、走り方のコツを教わることで、走ることや体を動かすことの楽しさを味わうことができたのではないかと思う。 ・このような機会をきっかけに、指導していただいたアスリートを応援しようという生徒や教職員、地域住民が増え、アスリートと生徒、学校、地域の全ての方々にとって Win-Win の関係になっていくことを期待したい。

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	香取市立山田小学校・中学校（合同開催）
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度定期健康診断結果について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症について</li> <li>・学校医・学校歯科医からの御指導</li> </ul>
実施形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会・グループでの話し合い</li> <li>・山田小中学校合同学校保健委員会とのセット</li> </ul>
日時 会場	令和3年11月25日（木）15：30～16：30 香取市立山田小学校体育館
参加者	教職員 11名 その他 3名 保護者 32名 <span style="float: right;">計 46名</span>
広報	・関係者への通知文
流れ・ 進行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告（各校）</li> <li>・グループ協議（新型コロナウイルス感染症予防対策に関すること、学校での様子、家で取り組んでいることについて）</li> </ul>
参加者の 意見	<グループ協議> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭では外に出る際に消毒液を持たせている。</li> <li>・学校ではマスクの着用、消毒について、こまめにできている。</li> <li>・コロナの感染症は減ってきているが、今後のことを考えると3回目のワクチン接種が必要である。（学校医）</li> <li>・身長、体重等の平均値がでているが、今後、さらなる少子化により、児童生徒数が減るので、平均値の在り方を検討する必要がある。（歯科医）</li> </ul>
参観者の 感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田小学校の生徒の体重が低学年ほど全国平均、県平均よりも高くなっている。貴校は通学バスで登校する生徒が多く、運動不足があるのではないのかと感じた。</li> <li>・ランドセルを背負って、歩くことが運動に繋がる。ある学校では、山田小学校のように通学バスの利用のため運動不足の生徒がいたため、清掃の時間に校庭を走るなど、意図的に運動する機会を設けているということを聞いたことがある。</li> <li>・近隣の小中学校が合同で学校保健委員会を開催することにより、児童・生徒の実態や健康面に関する課題について、地域全体で共有することができる。とても良い開催方法である。今後は計測の結果をもとに、児童・生徒には保健の学習等で課題意識や目標等をもたせ、家庭と連携しながら、改善へとつなげていってほしい。</li> </ul>

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	千葉県立浦安高等学校
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度教育計画策定に向けて</li> <li>・スクール・ポリシーについて</li> </ul>
実施形態	学校運営協議会とのセット
実施主体	学校運営協議会
日時 会場	令和4年1月7日(金) 14:00 ~ 15:30 図書室
参加者	教職員 13名 その他 4名 保護者 地域住民 7名 計 24名
広報	関係者への通知文
流れ・ 進行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会規則により、学校運営協議会の委員長が進行</li> <li>・生徒の活動の様子を一部動画で紹介</li> </ul>
参加者の 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画策定については、令和3年度のCSの意見を受け、学校が作成し、令和4年度の委員で承認をしていく流れで良い。</li> <li>・授業第一に、授業の質の向上を目指す。</li> <li>・学校の良さが伝わるようなものにしていきたい。</li> <li>・スクール・ポリシーについては、もう少し多様性があってもよいのではないか。</li> <li>・アドミッション・ポリシーにあてはまる子が入学してくれると嬉しい。</li> <li>・購買でのルールやマナーがとても良い。</li> <li>・自動車を運転中、横断歩道で止まり、生徒を渡らせてあげると、礼をしながら通っていった。等</li> </ul>
参観者の 感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域の連携への真剣さが大変すばらしい。</li> <li>・ぜひ、さらなる高大連携をすすめていていただきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような教育活動が行えない状況であるが、地域とともに生徒のことや学校のことを考えながら、協議をして様々な判断をしていく県立浦安高等学校の学校運営協議会のすばらしさを感じた。</li> <li>・学校と地域がともに課題を共有して、よりよい学校にしていこうという思いを感じた。</li> <li>・様々な立場の学校運営協議会の委員の方々のご意見は大変貴重なものである。</li> <li>・学校運営協議会の委員は入れ替わりがあるが、委員の経験者が増</li> </ul>

えることにより、学校の応援団が拡大していき心強い。

- ・ 学校運営協議会の委員の方々からの生の意見を聞くことができ、大変参考になった。
- ・ 探究ゼミに関する意見が多かったように思うが、予算面に関する課題や大学側と高等学校側の Win Win の関係の重要性、よりよい取組にしていくために生徒の希望と講師のマッチングを取り入れることなど、生徒のため、魅力ある学校づくりのために意見交換がされていた。学校運営協議会の良さを感じた。
- ・ 次年度から県立学校において、10数校がコミュニティ・スクールに移行する予定であるため、浦安高等学校での取組を導入校の参考にさせていただきたい。

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	船橋市立船橋特別支援学校
テーマ	健康で安全な学校生活を目指して
実施形態	学校保健員会とのセット
実施主体	学校が主催
日時 会場	令和4年1月13日(木) 15:00 ~ 16:00 プレイルーム
参加者	教職員 17名    その他 6名(学校医) 保護者 5名 地域住民 計 28名
広報	関係者への通知文
流れ・ 進行	進行(学校職員) ・各分掌(安全防災・保健・体育)ごとに取組について報告 ・学校医からの意見・助言 ・参加者の感想(PTA 役員)
参加者の 意見	<学校医より> ・肥満傾向の児童・生徒が増えている。 ・近視が増えているため、タブレットやゲーム等の機器の使い方については、「分使用したら外へ」などの対応が必要である。 ・1日3回の歯磨きが必要であり、特に寝る前は絶対である。今の予防の効果は5~6年後の結果につながる。 ・使用する歯ブラシや歯磨きの仕方は年代によって違うため、かかりつけ医でチェックを受けることが必要である。 ・先生方が子供たちのことをよく見ている。 ・メガネの着用率が高くなってきている。 <PTA 会長より> ・先生方の工夫したご指導に感謝している
参観者の 感想	・場の設定の工夫 ・電子黒板の前の席を保護者席として活動の様子が分かる写真を提示 ・食を通じて生活習慣を学ばせていることの大切さを改めて感じた。 ・自立していくための指導が、多岐にわたって行われているということがとてもよく分かった。 ・発達段階や個々に応じた食器を使い、きめ細かな支援が行われていることが分かり、個別支援の大切さを感じた。 ・コロナ禍の中だが、学校側から丁寧な対応、説明がされていた。 ・時代の変化や児童・生徒の実態に合わせて取組内容の見直しを行っていることはとても重要なことだと感じた。 ・感染症に関する学習を1度だけでなく、複数回実施することは定

着を図る上でとても重要なことである。

- ・先生方は、支援をする際に手をつないだり、近くで声をかけたりするなど、感染症対策をしながら支援することの難しさを改めて感じた。子供たち一人一人のために工夫して支援をしてくださっている先生方に感謝の気持ちでいっぱいである。